



2011年シーズン終了 ライスボウル連覇、 公式戦22連勝

並河 研 オービックシーガルズGM

新年1月3日、日本選手権(ライスボウル)に出場し、学生代表関西学院大学に38-28で勝利しました。社会人チームとしては、90年代初頭のアサヒビールシルバースターに次いで2度目の二連覇、また、通算5度目の優勝は、本大会単独最多となりました。同時に、2010年秋季シーズンより公式戦22連勝と、無敗記録を更新しました。

無敗ながら、2011年シーズンも緒戦から苦難続きで、2ndステージ・アサヒ飲料戦、社会人決勝・富士通戦は逆転による勝利、日本選手権も終盤4Qになってからの逆転勝利と、楽な試合はひとつもありませんでした。日本のトップチームの実力が均衡していて「紙一重」の差であるとも言えます。その中で抜け出すための「+α」とは何なのか？

富士通、関西学院大学、どちらも周到な準備と集中力、スタンドを巻き込んだ勢いに、前半は主導権を握られました。ただ、オービックシーガルズの選手たちの「自分が何とかする」という当事者意識(これはある意味プロ意識でもあると思うのですが)、そのエネルギーと、前年にも増して最大のパワーと

なったスタンドの皆さんとの絆の力が「+α」になったと言えるのではないかと思います。

三連覇ははるかに高い頂であり、それこそ偉業です。2012年は、オービックシーガルズに関わる全員がそのことに挑戦する「資格」を得ることができました。「三連覇を全員で勝ち取る」-今年の初心です。



2012/1/3ライスボウル@東京ドーム オービック38-28関学。大会MVPは二大会連続でQB#6菅原選手が受賞

[フィールドレポート]

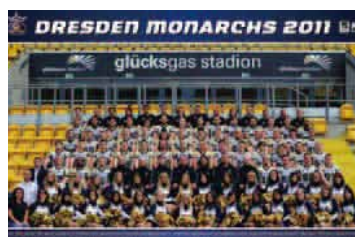
チーム初の海外遠征を発表-5月ドイツへ

ライスボウル当日に東京ドームで行われた日本アメリカンフットボール協会の記者発表会にて、5/19(土)にチーム初となる海外遠征による親善強化試合を行うことを発表しました。

対戦相手は、ドイツリーグの強豪、ドレスデンモナークス。旧東ドイツ地域ザクセン州の州都ドレスデンを本拠とする同チームの、設立20周年記念イベントとして開催される運びとなりました。



1/3(火)記者会見にて、並河GM(左)とドイツメフト協会ロバート・フォーバー会長



日本のXリーグのチームが独りリーグのチームと試合をするのは、今回が初めて

[ホームタウン活動レポート]

地元へV2報告-優勝報告会

1/7(土)、習志野市市民経済部商工振興課主催により、JR津田沼駅前モリシアにて、V2の報告会をさせていただきました。宮本習志野市長からご祝辞をいただき、選手インタビュー、抽選会、サイン会などを交え、かけつけてくださった500名の皆さんと喜びを分かち合いました。あらためて、日頃から応援、支援して下さる地元の皆さんへの感謝の気持ちがこみ上げた一日でした。



地元でこうした報告会は、初めての体験。思わぬ盛況に選手たちも感動感謝!



サイン会もおかげさまで大盛況でした。「今年も応援よろしくお祈りします」

[マンズリートピックス]

習志野市民スポーツ講演会に大橋HC

1/28(土)、習志野市教育委員会主催の市民スポーツ講演会で、大橋ヘッドコーチが講演を行いました。約160人の方を前に、「心・技・体・志」を磨くチームビルディングをテーマに、日頃の取り組みを述べていただきました。



ユーモアを交えた大橋節がアメフト初心者からも好評でした

[マンズリートピックス]

和田中「よのなか科NEXT」で授業

1/18(火)、19(木)、24(火)の3日間、杉並区立和田中学校の授業「よのなか科NEXT」に、ゲスト講師として大橋HC、LB#2古庄主将、DL#11ケビン・ジャクソン副将が招かれ、みんなでチームワークについて考えました。



KJは生徒に向け、「Test your potential.」とメッセージ

[オービックシーガルズ データクリップ]

- 2011秋季リーグ入場者数:63,567人 (RICE BOWLまで全10試合)
- ブースタークラブ2011会員数:466人 (ジュニア無料登録会員含む)
- 2011クリニック参加者:4回、844人
- 2011フラッグ教室参加者:28回、のべ1,487人 (「フラッグフットボールで遊ぶ日」、学校訪問等)
- YouTubeチャンネル 動画再生回数:494,555回 (2008年~)
- USTREAM 総視聴数:10,025回(2010年~)
- 公式ツイッター フォロワー:2,997人
- フェイスブック ファン数:1,252人
- メールマガジン配信先数:1,995件